

麻酔科

診療スタッフ

主任部長 佐藤浩三

部長 高木芳人、佐藤ゆみ子、園田清二郎、太田隆嗣

医長 石川亜希子、藤原康嗣

医員 徳田秀光、相野田桂子、今西晶子、宮本美希

医員（専攻医） 中村優太、アブディエヴシャブカット、只野隆幸

手術医療センター副センター長 野見山延

非常勤麻酔科医 18名

診療概要

麻酔科として中央部門12室（5階）と外傷部門4室（地下）の手術室運営を行い、麻酔科管理依頼の手術麻酔を担当しました。2021年は救命センター・外傷センター工事のため、11月2日より第3手術室が使用不可となり、運営に影響を及ぼしました。

麻酔科常勤医の内、麻酔科標榜医・日本麻酔科学会指導医もしくは専門医・日本専門医機構麻酔科専門医は14名であり、専攻医1名は標榜医取得前でした。

2020年より続くCOVID-19感染流行の中、感染者・疑似症者の手術も可能な限り受け入れつつ、手術による院内感染は発生しませんでした。感染対策として、PPEの適切な使用・ディスプレイ用具の利用・アクリルボックス（2020年作製）の使用などを行いました。

通常診療では、月曜日から金曜日までは最大12列の麻酔科管理・土曜日は最大5列の麻酔科管理を行いました。

診療実績

総手術件数：10,070件（内緊急手術1,710件）

麻酔科管理件数：5,630件

（内訳：全身麻酔単独3,674件・硬膜外麻酔/伝達麻酔/脊髄くも膜下麻酔併用全身麻酔1,314件・硬膜外麻酔/伝達麻酔/脊髄くも膜下麻酔単独524件・静脈麻酔単独118件）

【学術論文】

GlobalSurg-CovidSurg Week Authorship Co-author: Kozo Sato, Yuta Nakamura, et al. Timing of surgery following SARS-CoV-2 infection: an international prospective cohort study, Anaesthesia, 2021, Volume 76, Issue 6/ p. 748-758

【学会発表】

1. 中村優太, 太田隆嗣, 佐藤浩, 日本心臓血管麻酔学会第26回学術大会, 多中心性キャスルマン病合併胸腹部大動脈瘤置換術後に対する麻酔管理の一例, 2021.10
2. 只野隆幸, 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第61回合同学術集, 睡眠時無呼吸を合併している高度肥満患者の全身麻酔導入において、患者を交えた術前シミュレーションでの予想に反し、通常の仰臥位での気管挿管が容易であった一症例, 2021.9

その他の活動

太田隆嗣

11月 日本心臓弁膜症学会講演

12月 マリンクロット社内講演

3月 JAMS シンポジウム講演

展望/抱負

麻酔科管理が必要な症例は増加しており、2021年度はCOVID-19流行下の診療制限が行われている状況でも当院では総数として1万件越えの手術を行った。2022年度は現時点（2022年10月）でCOVID-19流行前の手術件数まで回復しており、今後更なる麻酔科の関与が必要となることが予測される。2022年度からは外傷部門を独立して管理しているが、今後は需要に応じて麻酔科体制を変化構築・維持していくことを目指している。社会的なニーズもあり、365日一定の稼働状況（7days service）を担保できるよう環境を整えていきたい。

学術的には学会発表・論文発表を重ねるとともに、各種学会などでの学術講演にも力を入れていきたい。

麻酔科

また、2024 年度には所謂「医師の働き方改革」が施行される。今後、当科としては時間外労働基準 A 水準（月間 80 時間以下）を実現する。更に、その水準を維持しながら、今後は総手術件数 15,000 件・麻酔管理件数 10,000 件を目標として活動を継続していく所存である。